

市内基幹バスOD調査に基づく  
利用状況について

令和3年3月

瀬戸市

## 目 次

1	令和2年度のOD調査にあたり	1
2	バス停別乗降者数の推移	
(1)	しなの線（旧瀬戸北線）	2
(2)	水野循環線・みずの坂線	4
(3)	赤津線	6
3	便別利用者数の推移	
(1)	しなの線（旧瀬戸北線）	8
(2)	水野循環線・みずの坂線	9
(3)	赤津線	10

### ※OD調査とは

名鉄バス株式会社がバス停別、便別に利用者の乗降状況等を把握するため、毎年5月の平日2日間にOD調査（起終点調査）を実施しています。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により9月8日（火）、及び9日（水）の2日間で調査を行い、バス停別乗降者数の推移、便別利用者の状況を取りまとめたものです。

(参考)

市内基幹バス3路線(しなの線(旧瀬戸北線)、水野循環線・みずの坂線、赤津線)を含む

### 名鉄バス路線図



# 1 令和2年度のOD調査にあたり

令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、4月5月に緊急事態宣言の発出があり、例年5月に実施しているOD調査を9月に実施しました。

感染症拡大によりテレワークや時差出勤、マスクの着用、車内の換気など、社会を取り巻く環境は、いわゆる「with コロナ / after コロナ」時代を見据えた新たなスタイルへと変化しつつあります。バス利用者について、令和2年5月頃と比較すると同年9月は幾分戻ってきていますが、全体としては前年ほど戻ってきていません。バス利用者が大幅に減少する一方、公共交通としての機能維持が求められています。

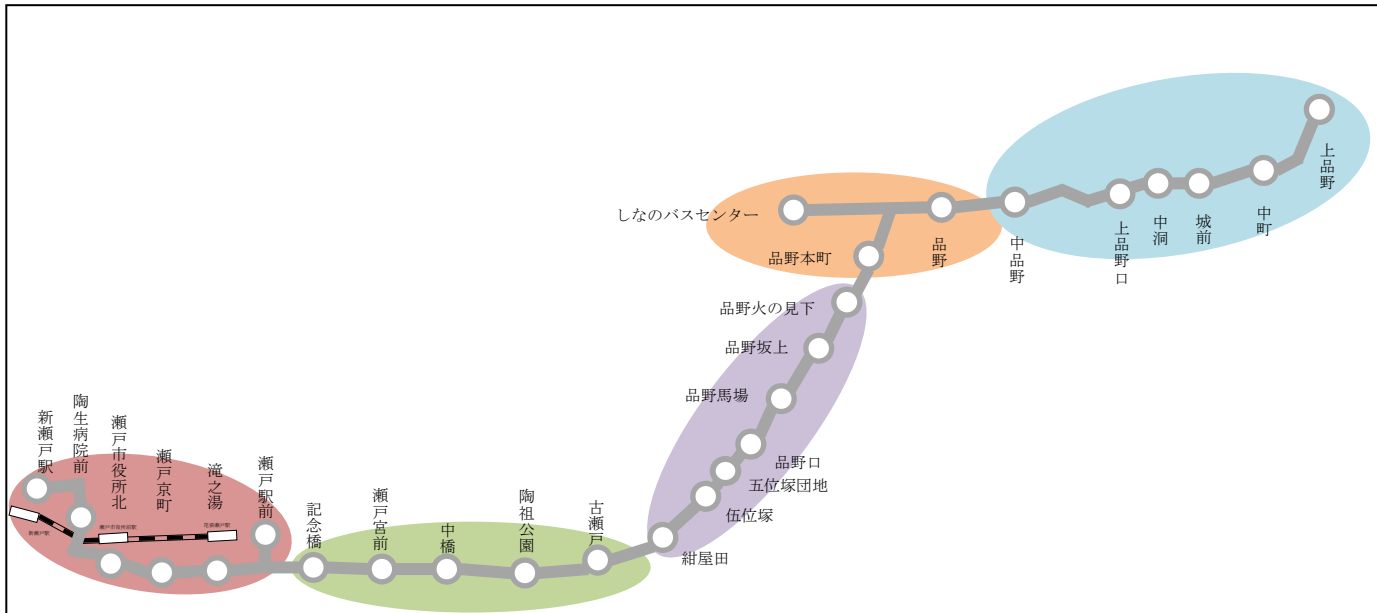
なお、今年度から、小中一貫校「にじの丘学園」生徒児童のバス利用により、市内基幹バス赤津線の利用者数が増加しています。

## 2 バス停別乗降者数の推移

### (1) しなの線（旧瀬戸北線）

平成24年度から令和2年度の各年度における瀬戸北線のOD調査による乗降者数を、“中品野～上品野区間”（中品野～上品野）、“しなのバスセンター周辺区間”（品野本町～品野）、“紺屋田～品野火の見下区間”（紺屋田～品野火の見下）、“赤津線重複区間”（記念橋～古瀬戸）、“中心的生活拠点区間”（新瀬戸駅～瀬戸駅前）、の区間ごとに集計した。

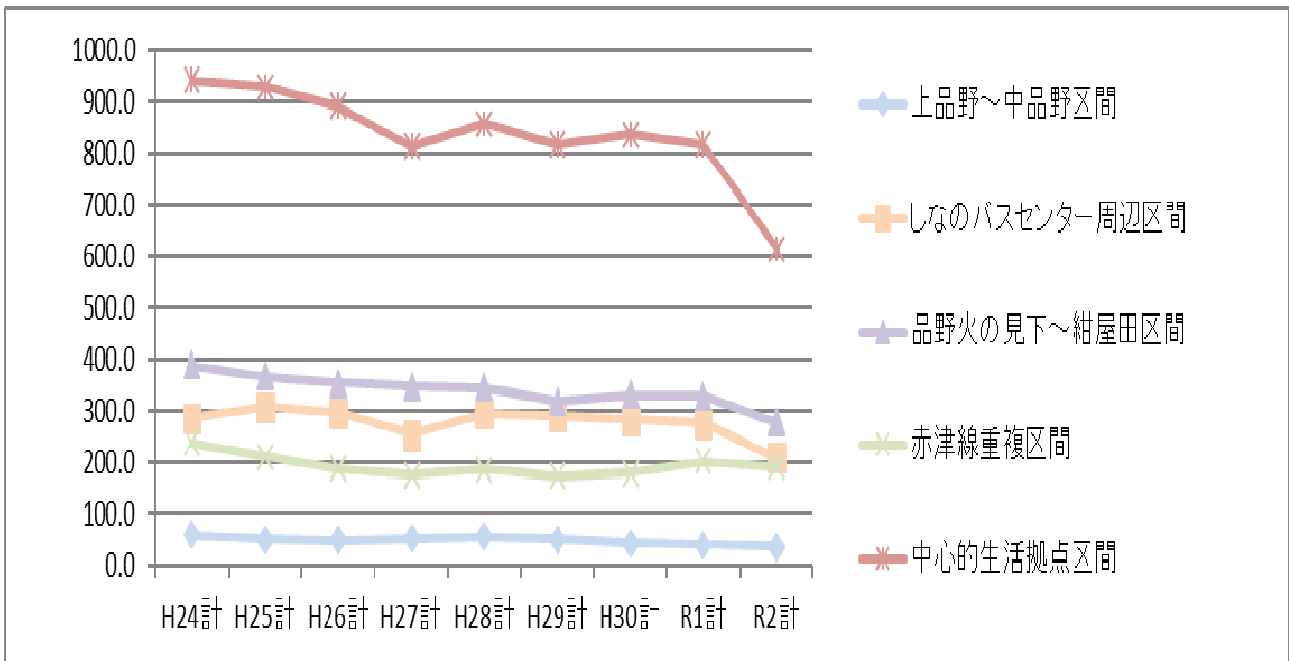
▼しなの線（旧瀬戸北線）路線図（令和2年度）



▼しなの線（旧瀬戸北線）のバス停別乗降者数の推移（人/日）

区間	No	停留所名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H24合計	H25合計	H26合計	H27合計	H28合計	H29合計	H30合計	R1合計	R2合計
上品野～中品野区間	1	上品野	10.0	9.0	7.0	6.5	6.5	4.0	5.0	5.0	3.5	60.5	51.5	50.5	54.0	57.0	52.0	45.0	41.0	38.0
	2	中町	12.0	7.0	7.5	5.0	5.5	7.5	4.5	3.5	1.0									
	3	城前	6.5	8.5	7.0	8.5	8.5	12.0	7.5	7.0	13.0									
	4	中洞	9.5	5.0	6.5	7.5	5.5	4.5	4.5	5.5	6.0									
	5	上品野口	11.5	8.0	11.0	13.5	16.0	10.5	8.5	8.5	5.0									
	6	中品野	11.0	14.0	11.5	13.0	15.0	13.5	15.0	11.5	9.5									
しなのバスセンター周辺区間	7	品野	64.0	87.0	83.5	63.5	68.5	63.0	66.0	64.0	45.0	287.0	308.5	297.0	255.0	296.0	290.0	283.0	277.0	211.0
	8	しなのバスセンター	124.0	117.0	123.5	110.5	141.5	142.0	146.0	131.0	110.5									
品野火の見下～紺屋田区間	9	品野本町	99.0	104.5	90.0	81.0	86.0	85.0	71.0	82.0	55.5	389.5	367.5	354.0	348.0	345.5	320.0	331.5	329.0	277.5
	10	品野火の見下	47.0	58.5	47.5	58.0	44.0	43.0	57.0	54.0	35.0									
	11	品野坂上	108.0	91.0	104.0	96.5	89.5	88.5	93.0	87.0	63.0									
	12	品野馬場	43.5	32.5	29.0	30.5	38.0	26.0	31.0	40.0	37.0									
	13	品野口	82.0	78.0	62.5	67.0	69.0	53.0	62.0	57.5	34.5									
	14	五位塚団地									50.0									
	15	伍位塚	94.5	90.0	87.0	78.0	88.5	92.5	71.5	74.0	44.5									
赤津線重複区間	16	紺屋田	14.5	17.5	24.0	18.0	16.5	17.0	17.0	16.5	13.5	238.5	211.5	188.0	177.0	187.0	174.5	180.5	202.5	192.5
	17	古瀬戸	63.0	61.5	61.5	55.0	53.5	56.5	51.5	62.0	46.5									
	18	陶祖公園 (瀬戸公園)	69.5	50.5	51.0	44.0	54.5	52.5	61.0	56.5	43.5									
	19	中橋	28.0	21.5	12.0	20.0	29.0	25.0	25.0	22.0	54.5									
中心的生活拠点区間	20	瀬戸宮前	44.5	19.0	29.5	36.5	29.5	23.5	30.5	37.0	29.5	941.5	929.5	892.5	813.0	857.5	816.5	837.0	817.5	615.0
	21	記念橋	33.5	59.0	34.0	21.5	20.5	17.0	12.5	25.0	18.5									
	22	瀬戸駅前	582.0	623.5	609.5	554.5	576.0	552.5	566.5	553.5	409.0									
	23	滝之湯	11.5	12.0	8.5	12.5	9.5	12.5	11.0	8.0	8.0									
	24	瀬戸京町	25.5	24.0	29.5	22.5	18.0	22.5	23.5	16.5	19.5									
	25	瀬戸市役所北	26.0	37.5	11.5	16.5	20.0	11.5	12.5	20.0	16.0									
	26	陶生病院前	105.5	91.5	94.0	92.0	90.0	74.5	88.5	84.0	58.0									
	27	新瀬戸駅	191.0	141.0	139.5	115.0	144.0	143.0	135.0	135.5	104.5									
合計			1,917.0	1,868.5	1,782.0	1,647.0	1,743.0	1,653.0	1,677.0	1,667.0	1,334.0	1917.0	1868.5	1782.0	1647.0	1743.0	1653.0	1677.0	1667.0	1334.0

※ 2日間の平均値



【上品野～中品野区間】：R元年度、今年度にかけて減少が続いている。

【しなのバスセンター周辺区間】：減少傾向にある。バス停別では、しなのバスセンターでH30年度にかけて利用が増加したが、それ以降減少傾向にあり今年度は減少が大きい。

【品野火の見下～紺屋田区間】：減少が続く中、R元度は増加に転じていたが、今年度大きく減少した。バス停別では、特に品野火の見下、品野坂上で利用者が減少している。

【赤津線重複区間】：R元年度は増加していたが、今年度例年ほどの利用となっている。

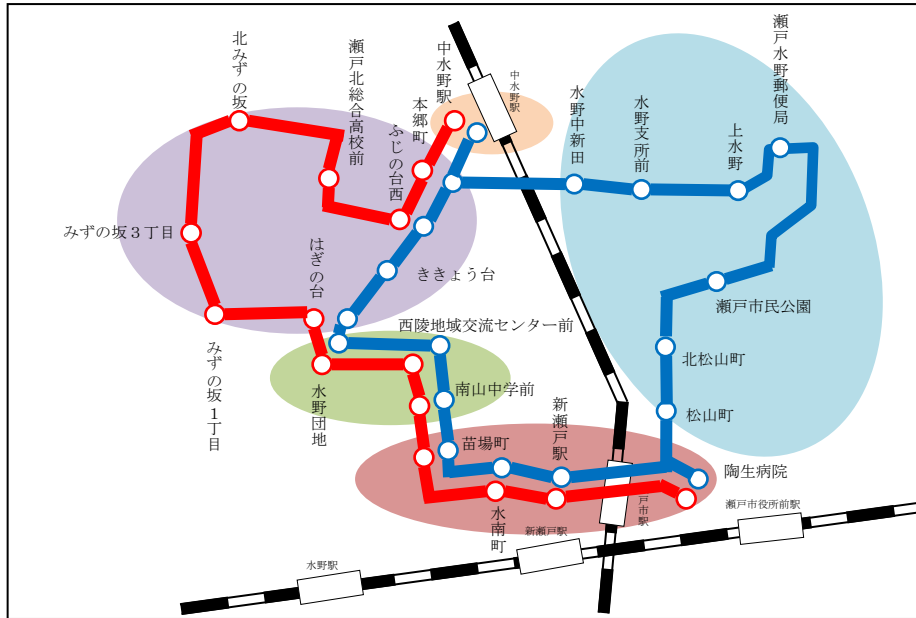
【中心的生活拠点区間】：鉄道駅での乗継利用が大きく減少している。

【全体】：R2年度は今までにない減少幅となっている。特に、中心的生活拠点区間にて前年度より利用者数が大きく減少している。

## (2) 水野循環線・みずの坂線

平成24年度から令和2年度の各年度における水野循環線・みずの坂線のOD調査による乗降者数を、“新瀬戸駅周辺区間”（陶生病院～苗場町）、“西陵地域交流センター周辺区間”（南山中学前～水野団地）、“みずの坂周辺区間”（はぎの台～本郷町）、“中水野駅”（中水野駅）、“水野循環線のみが運行する区間”（水野中新田～松山町）の区間ごとに集計した。

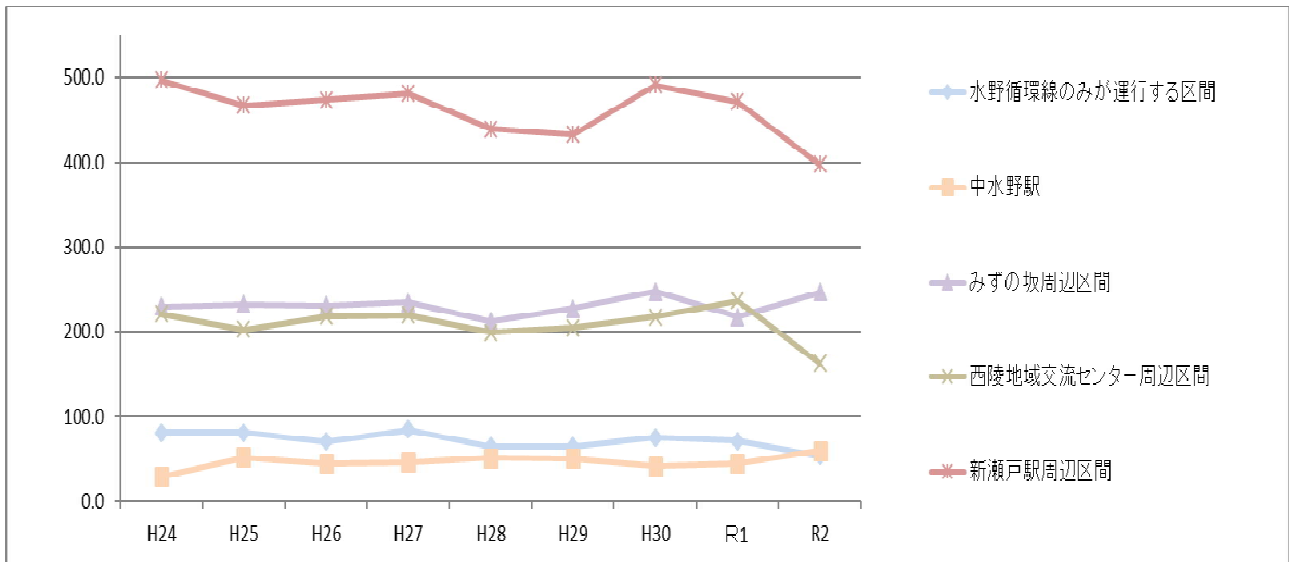
▼水野循環線・みずの坂線路線図（令和2年度）



▼水野循環線・みずの坂線バス停別乗降者数の推移（人/日）

区間	No	停留所名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H24合計	H25合計	H26合計	H27合計	H28合計	H29合計	H30合計	R1合計	R2合計
水野循環線のみが運行する区間	1	松山町	2.5	1.5	3.0	2.0	0.5	4.5	1.5	3.0	0.5	81.0	81.0	70.5	84.5	65.0	65.0	75.5	71.0	53.0
	2	北松山町（上松山町）	9.5	5.5	3.0	12.0	7.5	8.0	7.5	2.0	0.0									
	3	市民公園前	8.5	5.5	8.0	4.0	5.0	4.0	9.0	5.5	3.5									
	4	瀬戸水野郵便局									13.0									
	5	上水野	39.5	42.0	37.5	41.5	38.0	30.5	40.5	44.0	21.5									
	6	水野支所前	14.5	16.5	11.0	16.0	6.0	11.0	8.0	6.5	9.0									
	7	水野中新田	6.5	10.0	8.0	9.0	8.0	7.0	9.0	10.0	5.5									
中水野駅	8	中水野駅	29.0	52.0	45.0	46.5	51.5	50.5	41.0	44.5	59.5	29.0	52.0	45.0	46.5	51.5	50.5	41.0	44.5	59.5
みずの坂周辺区間	9	本郷町	6.5	4.5	3.0	8.0	6.5	10.0	7.0	9.0	4.5	230.0	232.5	231.5	235.0	212.5	227.5	247.5	218.0	247.0
	10	ふじの台西	20.0	16.5	16.5	21.5	8.5	13.5	18.5	14.0	13.5									
	11	瀬戸北総合高校前	26.5	36.5	30.5	31.5	30.5	38.5	26.0	30.0	68.5									
	12	北みずの坂	7.5	10.5	11.5	10.0	12.5	9.5	16.5	11.5	16.0									
	13	みずの坂3丁目	39.5	25.5	19.0	17.0	16.5	12.0	18.0	19.0	16.5									
	14	みずの坂1丁目	26.0	32.0	38.5	27.0	26.0	32.5	38.0	17.5	22.0									
	15	ききょう台	55.0	52.0	51.0	69.5	55.5	57.5	52.0	47.5	49.5									
16	はぎの台	49.0	55.0	61.5	50.5	56.5	54.0	71.5	69.5	56.5										
西陵地域交流センター周辺区間	17	水野団地	86.5	95.5	96.0	85.0	82.5	81.5	86.5	81.0	65.5	221.5	202.5	218.5	219.5	199.5	205.0	217.5	237.0	163.0
	18	西陵地域交流センター前	99.0	69.0	84.0	96.0	79.5	77.0	78.5	91.5	55.0									
	19	南山中学前	36.0	38.0	38.5	38.5	37.5	46.5	52.5	64.5	42.5									
新瀬戸駅周辺区間	20	苗場町	11.5	6.5	10.5	12.0	16.0	9.0	18.0	13.5	17.0	497.5	467.5	473.5	481.5	439.5	433.0	491.5	471.5	397.5
	21	水南町	11.5	14.0	13.5	10.5	9.5	7.5	16.5	9.0	11.0									
	22	新瀬戸駅	474.5	447.0	449.5	459.0	414.0	416.5	457.0	449.0	350.5									
	23	陶生病院									19.0									
合計			1,059.0	1,035.5	1,039.0	1,067.0	968.0	981.0	1,073.0	1,042.0	901.0	1,059.0	1,035.5	1,039.0	1,067.0	968.0	981.0	1,073.0	1,042.0	920.0

※ 2日間の平均値



【水野循環線のみが運行する区間】：今年度減少している。バス停別では、上水野の利用が瀬戸郵便局に分散している。上松山町の替わりとなる北松山町での減少が目立つ。

【中水野駅】：H30年度減少したが、R元年度、今年度と増加に転じている。

【みずの坂周辺区間】：R元年度に一時的に利用者が減少したが、今年度では元の水準を超える利用があった。バス停別では、瀬戸北高校前での利用が大きく増加している。

【西陵地域交流センター周辺区間】：H29年度以降増加傾向であったが、R2年度大きく減少している。

【新瀬戸駅周辺区間】：新瀬戸駅以外については、例年程度であったが、新瀬戸駅にて大きく減少に転じている。新設の陶生病院について2桁利用となっている。

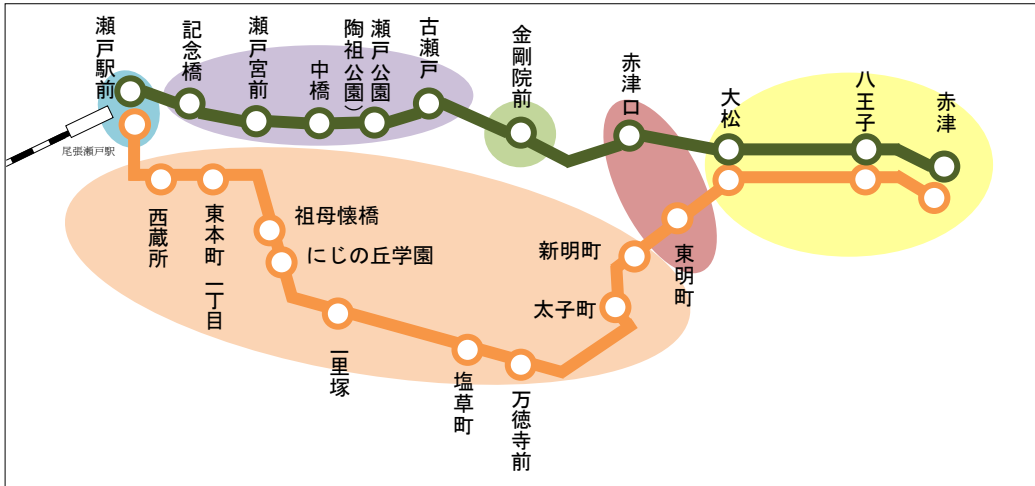
【全体】：H28年度に大きく減少したが、今年度その減少を超える利用減となった。区間別では、西陵地域交流センター周辺区間の減少が目立つ形となっている。また、新瀬戸駅における減少がみられた一方で、中水野駅では増加傾向と対照的となっている。



### (3) 赤津線

平成24年度から令和2年度までの各年度における赤津線のOD調査による乗降者数を、“尾張瀬戸駅”（瀬戸駅前）、“一里塚経由のみが運行する区間”（西蔵所～新明町）、“瀬戸北線と重複する区間”（記念橋～古瀬戸）、“古瀬戸経由のみが運行する区間”（金剛院前）、“両路線の停留所が近い区間”（東明町、赤津口）、“両路線が運行する区間（大松～赤津）”の区間ごとに集計した。

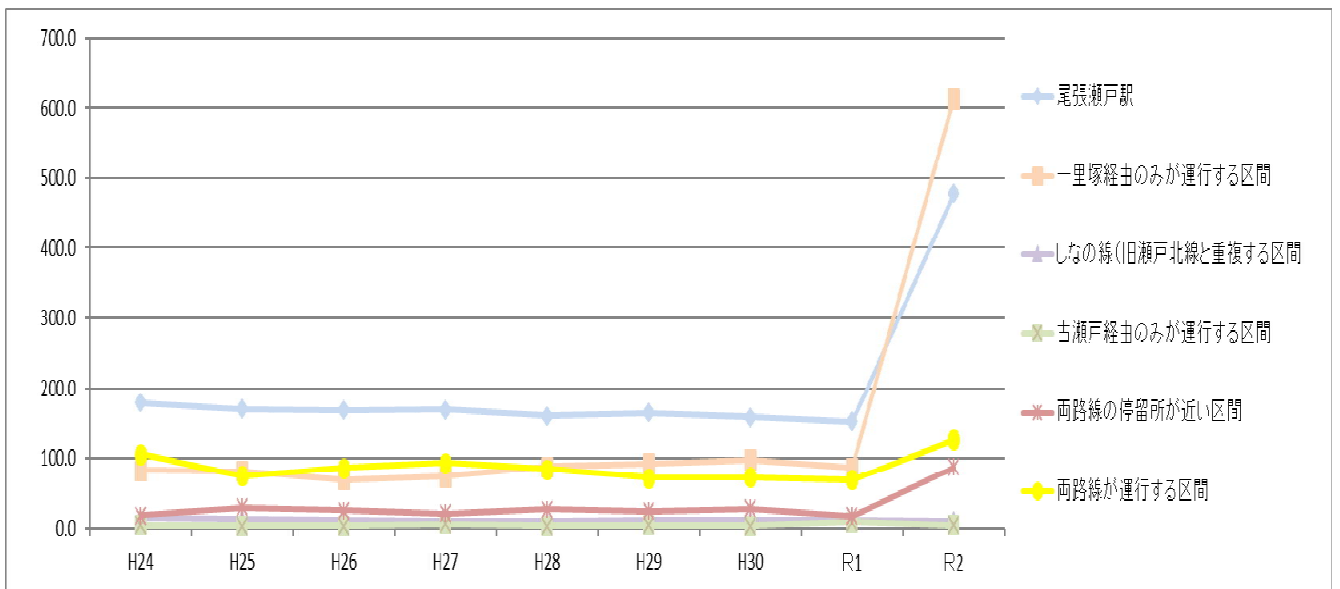
▼赤津線路線図（令和2年度）



▼赤津線のバス停別乗降者数の推移（人/日）

区間	No	停留所名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	H24合計	H25合計	H26合計	H27合計	H28合計	H29合計	H30合計	R1合計	R2合計
尾張瀬戸駅	1	瀬戸駅前	179.5	170.0	168.5	169.5	160.0	165.0	158.5	152.5	477.5	179.5	170.0	168.5	169.5	160.0	165.0	158.5	152.5	477.5
一里塚経由のみが運行する区間	2	西蔵所			2.0	3.5	9.0	5.5	9.0	8.0	12.5	82.5	82.0	69.5	74.0	88.0	92.5	98.0	86.5	614.0
	3	東本町一丁目	9.0	7.0	4.5	6.5	10.5	7.0	8.0	4.0	5.0									
	4	祖母懐橋	13.0	7.5	4.0	6.5	4.5	8.0	7.5	9.5	28.0									
	5	にじの丘学園	—	—	—	—	—	—	—	—	430.5									
	6	一里塚	10.0	16.5	11.0	13.0	15.0	16.5	12.0	16.0	14.0									
	7	塩草町	18.0	16.5	17.5	12.0	14.0	23.0	19.5	14.5	68.0									
	8	万徳寺前	9.0	11.0	10.0	18.5	12.5	12.0	19.0	11.0	15.5									
	9	太子町	6.0	6.0	2.0	2.0	7.0	6.0	5.5	7.0	25.0									
	10	新明町	17.5	17.5	18.5	12.0	15.5	14.5	17.5	16.5	15.5									
	しなの線（旧瀬戸北線）と重複する区間	11	記念橋	2.0	2.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	0.0									
12		瀬戸宮前	3.5	1.0	2.0	2.0	1.0	2.0	4.5	3.5	2.5									
13		中橋	1.0	2.0	0.0	1.5	1.0	0.5	0.5	3.0	1.5									
14		陶祖公園（瀬戸公園）	3.5	3.0	3.5	3.5	1.0	3.5	2.5	1.0	2.0									
15		古瀬戸	4.5	4.5	5.0	2.0	5.0	4.5	3.0	3.5	3.0									
古瀬戸経由のみが運行する区間	16	金剛院前	4.5	4.0	3.5	6.5	3.5	4.5	4.0	9.0	4.5	4.5	4.0	3.5	6.5	3.5	4.5	4.0	9.0	4.5
両路線の停留所が近い区間	17	東明町	12.5	22.0	16.0	14.0	17.0	19.0	18.0	10.5	80.5	18.0	29.5	25.5	20.5	27.0	24.0	27.5	17.0	87.0
	18	赤津口	5.5	7.5	9.5	6.5	10.0	5.0	9.5	6.5	6.5									
両路線が運行する区間	19	大松	47.5	40.5	50.5	52.0	51.0	38.5	45.5	40.0	60.0	106.0	75.0	86.0	94.0	84.5	72.0	73.0	69.5	127.0
	20	八王子	28.0	21.5	23.5	27.5	22.5	21.5	13.5	14.5	37.0									
	21	赤津	30.5	13.0	12.0	14.5	11.0	12.0	14.0	15.0	30.0									
合計			405.0	373.0	365.0	374.0	372.0	370.0	372.0	345.5	1319.5	405.0	373.0	365.0	374.0	372.0	370.0	372.0	345.5	1,319.5

※ 2日間の平均値



【尾張瀬戸駅】：R元年度と比較して300人を超える増加となっている。

【一里塚経由のみが運行する区間】：R元年度と比較して500人を超える増加となっている。バス停別では、にじの丘学園の利用が大きく、塩草町、太子町、祖母懐橋の利用も増加している。

【しなの線と重複する区間】：おおむね11人前後の利用で推移している。

【古瀬戸経由のみが運行する区間】：おおむね5人前後で推移しており、利用は少ない。

【両路線の停留所が近い区間】：R元年度と比較して70人の増加となっている。バス停別では、東明町の利用が増加している。

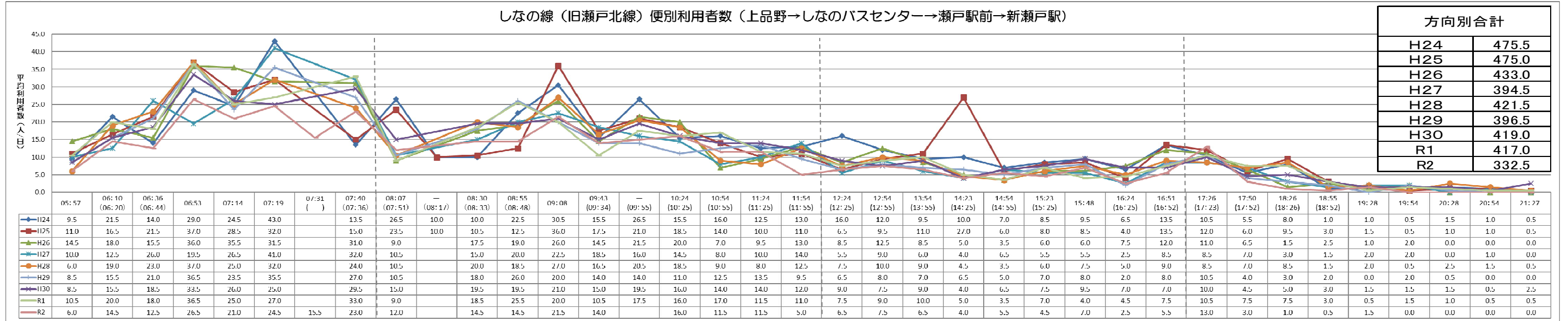
【両路線が運行する区間】：減少傾向にあったが、今年度は各バス停ともに増加している。

【全体】：おおむね370人前後の利用で推移していたが、今年度は1320人弱の利用と約950人の伸びとなっている。

### 3 便別利用者数の推移

#### (1) しなの線（旧瀬戸北線）

※（ ）内は令和元年度までのダイヤ。



#### 【始発から通勤・通学時間帯の利用状況】

例年と比較して新型コロナウイルス感染症によるリモートワークの活用など通勤利用の減少による影響を大きく受けている。

#### 【通勤・通学時間帯を除いた午前中の利用状況】

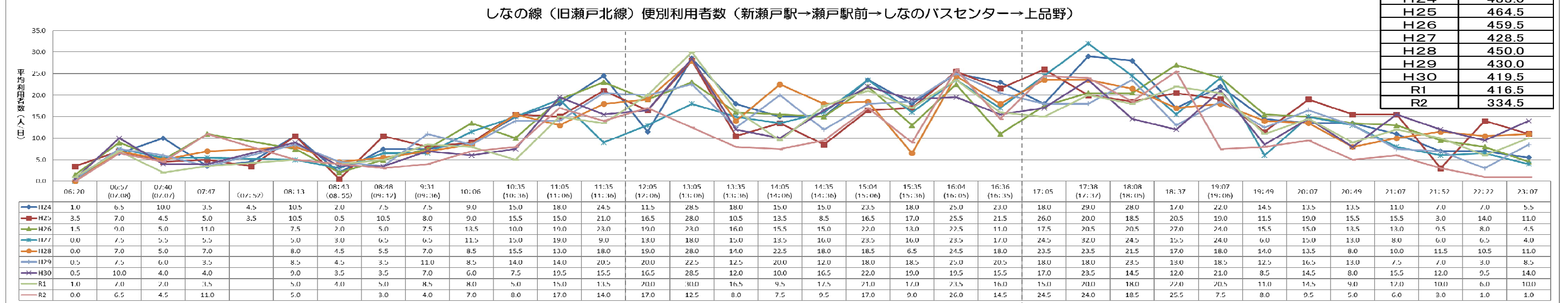
前年度と比較し新型コロナウイルス感染症による買い物や通院の出控え等があり減少している。  
(8:07、9:08、9:43)を除く便において減少もしくは前年同様としている。

#### 【夕方までの利用状況】

前年度と比較し新型コロナウイルス感染症による買い物や通院の出控え等があり減少している。

#### 【帰宅時間帯から最終便までの利用状況】

18時台の通勤利用者が減少した。  
19時以降の利用はほぼない。



#### 【始発から午前中の利用状況】

減少傾向である。  
昨年と比較すると同程度と新型コロナウイルス感染症の影響は比較的少ない。  
午前10時頃までの利用者数は3人~11人程度と少ない。(7:47除く)

#### 【夕方までの利用状況】

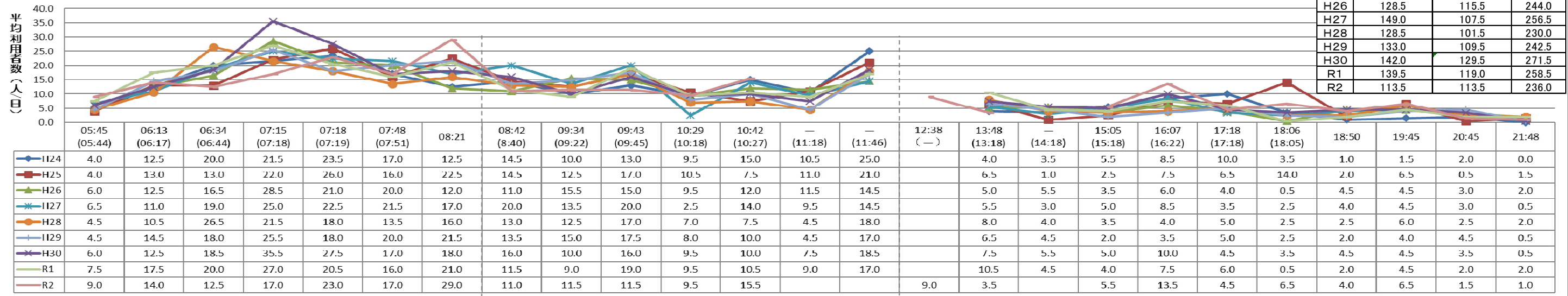
例年に比べ2/3程度の利用者となっており、新型コロナウイルス感染症による買い物や通院も出控え等があり減少している。  
13:05の便の利用が大きく減っている。

#### 【帰宅時間帯から最終便までの利用状況】

17、18時台は例年と同程度以上であるが、新型コロナウイルス感染症により早めに帰宅する人が多いため、19時台以降の利用が大きく減少している。

(2) 水野循環線・みずの坂線

水野循環線・みずの坂線 便別利用者数（南行き・左回り）



【始発から通勤・通学時間帯の利用状況】

H30、R1 年度増加していたが、R2 年度はそれ以前の水準となり、新型コロナウイルス感染症によるリモートワークの活用など通勤利用の減少による影響を受けている。

【通勤・通学時間帯を除いた午前中の利用状況】

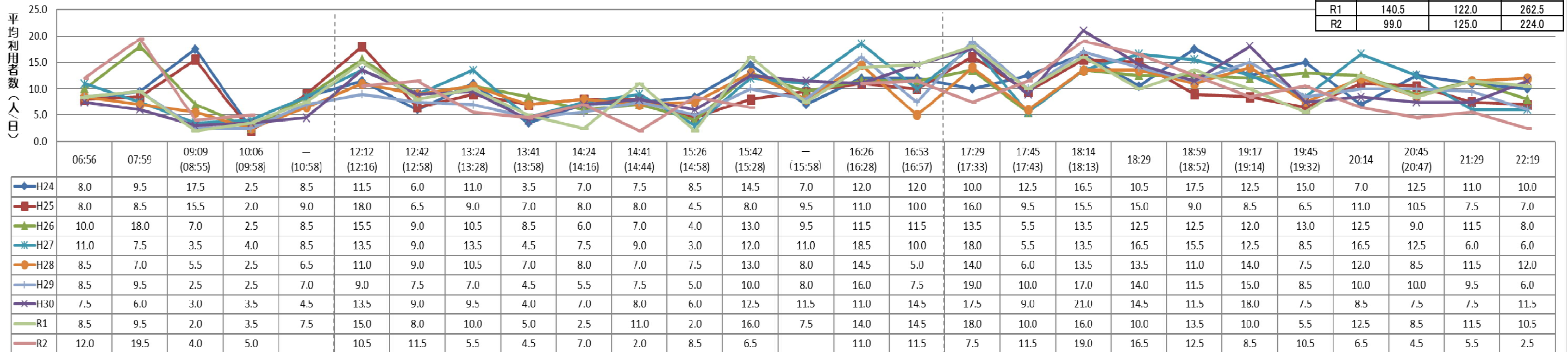
11 時台の便がなくなったため利用者数が減少している。また、新型コロナウイルス感染症による買い物や通院の出控え等があり減少している。

【昼過ぎから最終便までの利用状況】

12:38 の便ができたことにより、増加している。16:07、18:06 の便で増加が目立つ。

	水野循環線小計		みずの坂線小計		方向別合計	
H24	145.0	136.5	281.5			
H25	126.5	132.0	258.5			
H26	133.0	142.5	275.5			
H27	148.0	129.0	277.0			
H28	130.5	123.5	254.0			
H29	127.0	121.0	248.0			
H30	138.0	127.0	265.0			
R1	140.5	122.0	262.5			
R2	99.0	125.0	224.0			

水野循環線・みずの坂線 便別利用者数（北行き・右回り）



【始発から午前中の利用状況】

新型コロナウイルスの影響は比較的少なく、増加傾向である。平成 26 年度同様の朝のピークが見られた。平成 24~26 年度に近い利用に回復している。

【昼過ぎから夕方までの利用状況】

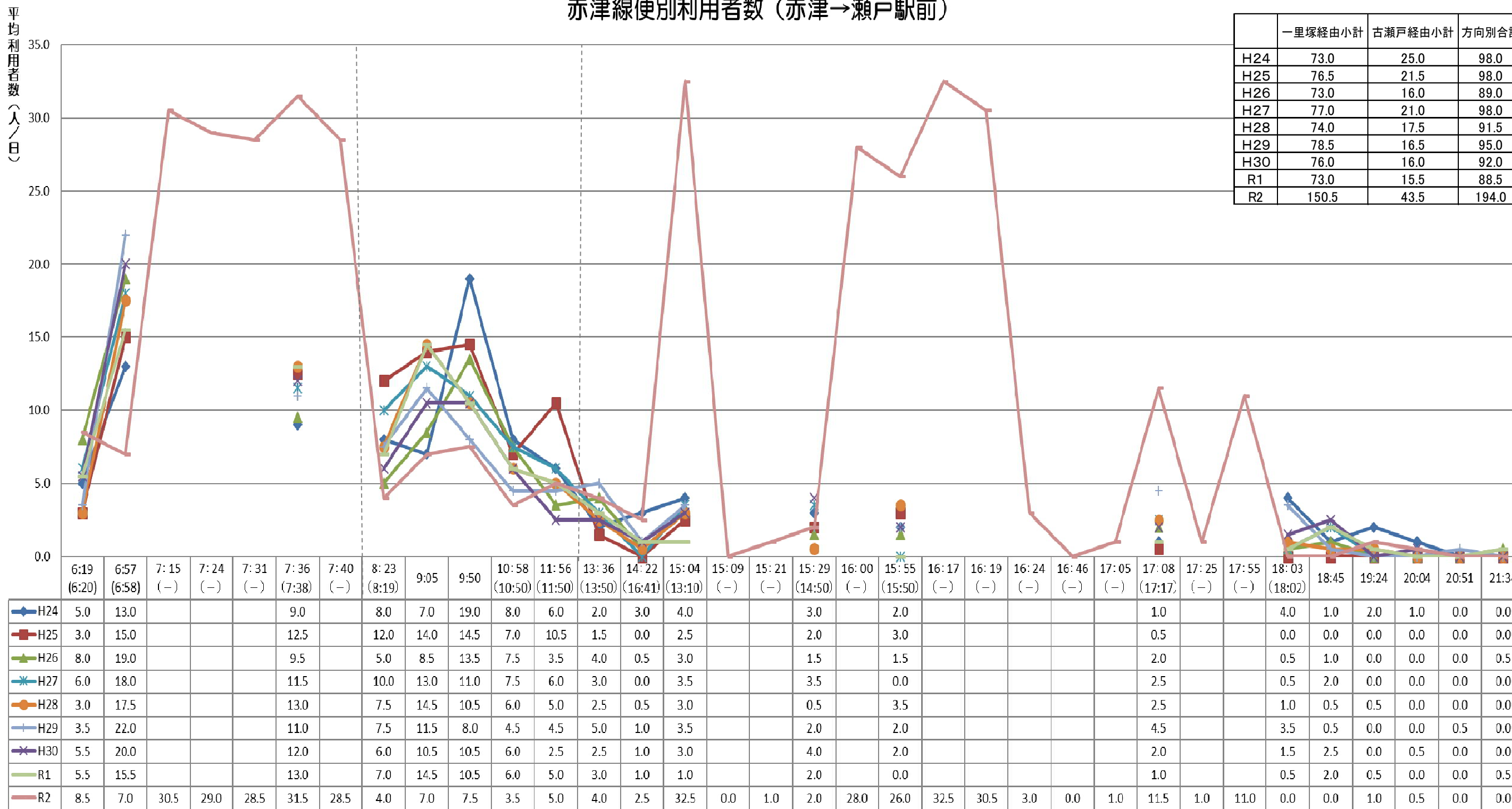
新型コロナウイルス感染症による買い物や通院の出控え等があり、減少傾向である。これまでのダイヤと変更があるものの、14、15 時台の減少が目立つ。

【帰宅時間帯から最終便までの利用状況】

減少傾向である。新型コロナウイルス感染症により早めに帰宅する人が多いため、17 時~19 時台の利用は好調である一方、20 時台以降の利用の減少が大きい。

(3) 赤津線

赤津線便別利用者数（赤津→瀬戸駅前）



【始発から通勤・通学時間帯の利用状況】

にじの丘学園児童生徒の関係で、例年の4倍程度に大きく増加している。  
7時台の利用が、30人程度ある。(新型コロナ対策による臨時便含む)

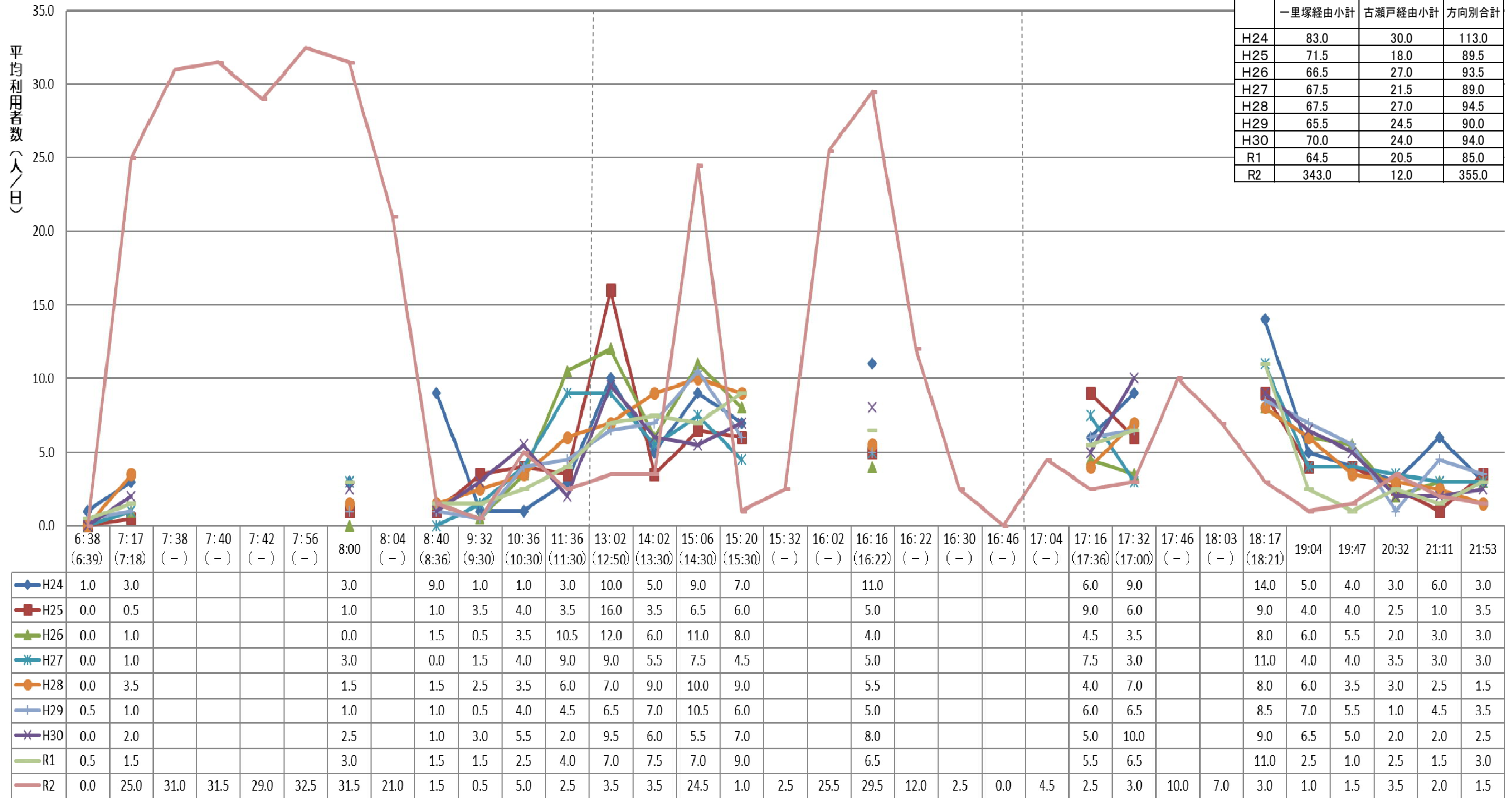
【通勤・通学時間帯を除いた午前中の利用状況】

新型コロナウイルス感染症による、出控えがあり減少傾向である。

【昼過ぎから最終便までの利用状況】

にじの丘学園児童生徒の関係で、18時以前の便大きく増加傾向しているが、一桁前半もしくは0人利用の便も目立つ。  
例年と変わらず19時以降の便について、利用はほぼない。

### 赤津線便別利用者数（瀬戸駅前→赤津）



**【始発から午前中の利用状況】**  
 にじの丘学園児童生徒の関係で、7時台から8時台前半の便が大きく傾向である。  
 6時台、8時台後半以降の一般利用客による利用が少ない。  
 全体としては例年の10倍以上である。

**【昼過ぎから夕方までの利用状況】**  
 にじの丘学園児童生徒の関係で、16時台の便における増加傾向が目立つ。  
 一般の利用客については、新型コロナウイルス感染症による買い物や通院の出控え等があり、減少傾向である。

**【帰宅時間帯から最終便までの利用状況】**  
 全体としてはR元年度と同程度である。  
 新型コロナウイルス感染症により早めに帰宅する人が多いため、19時台以降においては、5人未満と利用が少ない。